

⑤「水土を守る人々」

Vol. 4

「水土を守る人々」では、農業や農業用水の役割とこれらが持つ多面的機能等が十全に発揮されていくために、農業水利施設等の維持管理を支える人々の日常にスポットを当てて、その取り組みを紹介することで、農業農村整備や多面的機能の発揮が「人」の支えの上に成り立っていることを伝えていきます。

※不定期で掲載いたします。

「地域を元気にするには農業から」

～上川名地区資源保全隊 加藤嘉昭～ 宮城県柴田郡柴田町上川名

1. 生まれ育った故郷の変化

宮城県柴田郡柴田町は仙台市から南へ約25kmに位置し、桜の名所「船岡城址公園」「白石川堤一目千本桜」で有名である。

その柴田町内の北東部に位置し、JR東北本線槻木駅から3kmの場所にある、上川名地区という集落がある。そこには、のどかで美しい田園風景が広がっているが、ここも他の農村地域と同じく、過疎と高齢化が進み、存続の危機が迫っている。

その危機に地域の仲間と一緒に奮闘している加藤嘉昭さんを紹介する。

加藤さんは長年勤めてきた柴田町役場を、平成25年に早期退職し、現在は父から受け継いだ農地で農業をしながら、「多面的機能支払交付金」制度の活動組織「上川名地区資源保全隊」の庶務担当として活動を支えている。

加藤さんは、「上川名地区の水田は、山からの雨水が流れ込みやすい地形にあり、必ずしも農地条件は良い方ではないが、その昔、仙台藩直轄地の穀倉地帯であったことから、江戸時代以前からの歴史や農村文化、豊かな自然が残されていた。そんな上川名地区も、人口減、高齢化、人々の結びつきの変化により、農業・農村の多面的機能や伝統文化の維持が難しくなり、地域の将来に不安を感じている。この上川名地区を活性化するためには、農業を元気にすることが必要であり、まずは、集落の多くの人が協力して用排水路やため池、遊休農地の対策など農業を続けるための作業を行うことが重要だ。」との思いを強く抱いてきた。

2. 将来の地域と農業を考えて

上川名地区は、柴田町が平成18年度以前から行っている、農業用施設の維持管理に対する資金手当を受けていたが、その活動基盤を利用して平成19年度から「農地・水・環境保全向上対策」（以下「農地水」）に取り組むこととした。「農地水」の制度は農地面積に比例する交付金であることから、町の手当よりも金額的に低くなっ

たことや、手続きに係る多くの書類作成が、パソコンに不慣れた高齢の農家にとっては難しい面もあった。しかし、本取組を始めると、皆が集まって話す機会が格段に増え、それがさらなる活動や地域への活力に繋がった。加藤さんは「今では感謝している。だが、書類は新制度になっても多いな。」と穏やかな表情の間に厳しい表情も少しだけ見せる。

3. 故郷の現実と向き合いながら

加藤さんらは、地域の資源や立地の利点を活用することに着眼。共同活動時の人手が必要な時は、近郊の都市に住む地域出身者など集落外の人々を取り込むことや、観光資源として地元に眠っていた文化財の活用、地域に貢献したいと考えていた女性達のアイディアや活躍による郷土料理の提



加藤さんの母校は直売所となり活躍

供、小学校分校廃校跡の直売所への活用など、なかには一筋縄ではいかないこともありながらも、農村振興のために様々な取組を続けてきた。加藤さんは「今の仕事や農家は役所より楽しいよ、太陽と一緒に起きて寝る生活だしね。」「『農地水』活動のコツは会合自体の時間は少なく、その後の飲み会に多く時間を取ること、その時間が大切なんだよ。そこで色々な本音や、アイディアが出て来て、話し合う。そしてお互い理解し合えるんだ。」と話す。



左から瀬戸課長と加藤さん

取材時には終始朗らかな加藤さんについて、柴田町役場の瀬戸農政課長は、「加藤さんは役場時代に広報など様々な部署で活躍し、仕事に厳しかった。そして何時も地元へ愛情を注ぎなさいと言われる。今でも私は厳しく指導されてます。」と語る。そこには穏やかで強い信頼関係があった。

4. これからも

加藤さん曰く「農業は、厳しい。若者達に無理に継がせるようなことはできない。だが、平均寿命が伸びた高齢者にとっては残りの人生を楽しく、そこそこ生活が出来る職業じゃないかな。これからは高齢者にとって最適な仕事になりえると思う。」

「この地域は昔から自助努力の精神を持っている。行政から指導される前に、防災団を作っていて、東日本大震災直後の飲水の補給も自前で速やかに対応できたんだ。だが、自分達だけで難しいことは国の補助も利用する。」「高齢化した少ない農家の

ためにも、地域で農業の法人化について検討するところ。」など、農業や地域についての深い思いをあふれる様に語った。

日本を上川名から変えたいと、夢を大きく持つことをモットーに、加藤さんは、古くて新しい上川名を探し続けている。そこには昔から大事に使われている農業水利施設の存在があり、その農業用水路には夏夜に無数の蛍が飛び、観光資源としても活躍している。

～ご紹介～

上川名集落にある農村レストラン「縄文の幸」の地元産の農産物をふんだんに使用したランチ（要予約）はとても美味しくおすすめ！<<http://www02.jet.ne.jp/~kato0323/kamikawana/resutoran.htm>>
また、加藤さんはテレビ朝日の番組「人生の楽園」で紹介されております。平成27年5月9日放送分

【東北農政局設計課・農村振興局設計課】